

おわりに

保育を行ううえで、施設環境はとても大切な一部分であります。ただ美しい施設環境させ整ってあればよいのか？ 私自身、そういう認識では子ども達にとっての“最良の環境”には程遠いものだと思っています。やはり子ども達にとっての第一の環境は、物ではなく人、つまり私達保育士自身だと考えます。仮に、子ども達の前で美しい言葉遣いや、洗練された所作、良い行いをしていたとしても、心の中にやってやった感でいっぱいであれば、その保育士の人間力は高まらず、子ども達を笑顔にし続けることはできないと思います。

もちろん、表情・目線・話し方・聴き方・身だしなみ…どれも人を心地よくさせるためには欠かせないものです。

しかし、とすると、“目に見える形だけ整えていけばそれでいい”ともなりがちです。陽の当たる部分だけ伸ばしておけばいい、影の部分なんて見なくていい。誰も「目に見えるもの」は大切に思えても「目に見えないもの」に対して、意識が薄れがちでは十分な保育とはいえない、そう思います。

弊社各施設に計150本以上の木を植えておりますが、その木々に例えると、根は土の中に隠れつつ養分や水分を枝葉に送り続けています。根が枯れたなら枝葉もまた枯れてしまうでしょう。人間の心も同様に心の力（根の力）は目に見えないからこそ意識して、日々の保育に取り組んでいく必要性を感じます。子ども達を育む環境に「心」を加え、子ども達、保護者の方々の想いに応えていくことは、TOMORROW COMPANYの約束です。

また制作にあたり、写真家だった祖父の影響から私達自身カメラを持ち撮影をしていく中で、今まで見えなかったものが見えてきたり、これからの創造を発見できた良い機会となりました。

これからも未来ある子ども達のために、質の高い保育環境を作っている、大きくは「社会に貢献する企業」を目指して参ります。

TOMORROW COMPANY 代表取締役 岡本達朗